



CrimpCenter ACS

CrimpCenter用コイル結束システム

- CrimpCenter EASYソフトウェアによる簡単操作
- 片端に防水栓または端子があるかなしにかかわらず、単線用途に対応
- 最小限のスペースで高い性能を発揮
- 簡単なセットアップ

オプション

CrimpCenter ACS

コンセプト

CrimpCenter ACS (AutoCoiling System) は、延長コンベヤーを必要とせず、ロングワイヤー用途で必要となるフロアスペースを大きく減らせます。この装置は製造中にロングワイヤーの巻取、結束、パッチ処理を自動的に行います。結合は、下流の製造工程で容易に取り外し可能なテープで行われます。

機能

CrimpCenter ACSは、ロングワイヤーをリング状に自動的に巻き取ります。ワイヤーサイズによって、約4 m (13.12フィート)～30 m (98.4フィート) 以上の長さのワイヤーを扱うことができます。結束ユニットは、コイルを簡単なテープで固定し、ハンドリングします。テープ止めされたコイルは、スタッキングユニットに集められ、簡単に取り出すことができます。このスタッキングユニットには、2本の水平回転可能な回収アームがあります。片側でコイルを回収している間に、前のパッチのコイルは反対側から手作業で取り出せるようになっています。ワイヤーコイルは保管スペースをほとんど必要とせず、下流の工程でもハンドリングが簡単です。

アプリケーション

CrimpCenter ACSは、エクステンション付きの標準コンベヤーを使用せず、自動的にロングワイヤーを巻き取ります。防水栓挿入や圧着など、CrimpCenterの側面1のワイヤー先端を処理した後、リニアグリッパーがそのワイヤーをカッターヘッドから、巻取ヘッドのグリッパーへ移動させます。その後のフィード/巻取工程は、同期した高性能サーボモーターで制御されます。側面2でワイヤー終端を処理した後、ワイヤーは、統合されている結束ユニットによって粘着テープで結ばれ、スタッキングユニット上に回収されます。スタッキングユニットの上部は回転するため、製造中、コイルを安全かつ容易に取り出せます。

技術仕様	
ワーク長	約4 m～30 m (13.12フィート～98.4フィート) 以上 (ケーブル断面積によって、抜き取り検査が必要)
導体断面	0.35～2.5 mm ² (22～12 AWG)
供給速度	最大9 m/秒 (29.5フィート/秒)(ワイヤーおよびワイヤーパッケージによって異なります)
寸法 (長さ x 幅 x 高さ)	1,000 x 720 x 1,700 mm (39.37 x 28.35 x 66.99インチ)(CoilTaperとCoilStackerを装備)
重量	約175 kg (385ポンド)
CE適合性	CrimpCenter全自動マシンに取り付けられた自動巻取装置は、機械・電気的安全性および電磁適合性に関し、すべてCEおよびEMC設備ガイドラインに適合しています。
注記	Schleunigerは、特定の装置の加工能力に疑問がある場合、ワイヤーサンプルの提出を推奨しています。

To Be Precise.